

口語表現。

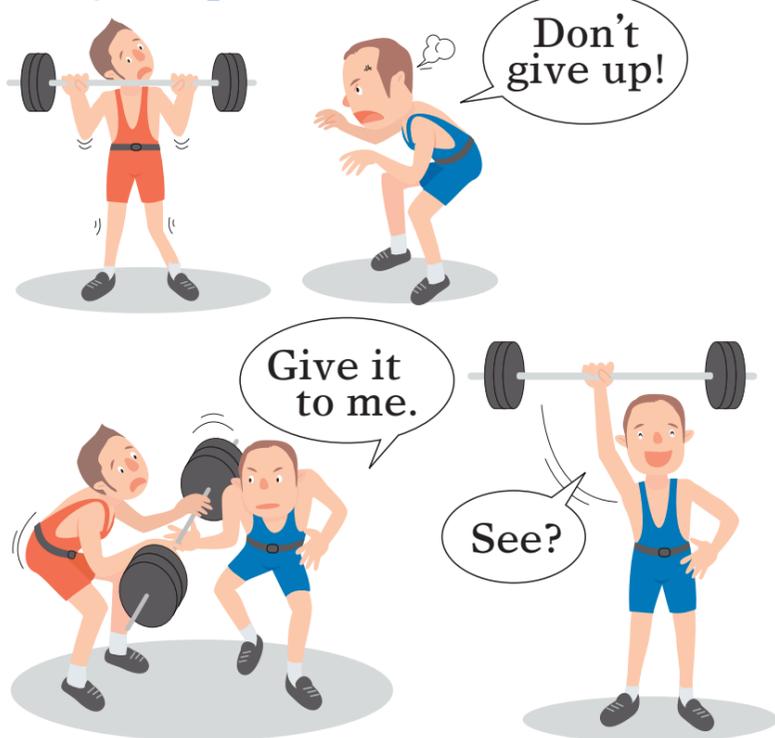
「やさしい単語」が難しい!



come, go, take, make, put, get などという基本動詞は中1でも知っているけれど、多くの人が「来る」「行く」「取る」... というふうにとりあえずひとつの訳語を知っているだけ。その語の本来の意味と用法をマスターしている人は少ないものです。だから、特に難関大ではこうした単語の出題が多いのです。

東進英語科講師・宮崎 尊先生による紙上講義!

Give は「ぽいっ」。



Give の意味は、というとみんな「与える」と答えます。たしかに Give it to me. (貸してみろ) のように、give のあとに「与える相手」が来る場合はそれでいいんですが、それでは Don't give up! (あきらめるんじゃない!) が説明できない。

相手が明示されていない場合の give の意味は「ぽいっ」と放り出す、手放す感じ。だから give up は「放り出す」。(up には「上へ」ばかりでなく「完了」という意味合いもあります。) こうした give は珍しくなく、「太陽は光と熱を出す」は The sun gives off light and heat. です。街で配る無料のティッシュやサンプルなんかは giveaway (←give+away) と言います。「理由をあげなさい」を Give reasons. と言うのも別に「誰に」「与える」わけでもありません。要するに、何かをぽいと手放すのが give で、相手が明示されていれば「与える」になるということです。

「強く押したらカギが開いた」は英語で When I pushed hard, the lock gave. と言いますが、これなんかカギが「ああ、もういい。ギブアップ」してるみたいでおもしろい表現です。

「状態」を自分のものにするのも 自分から動くのも get.

Give と反対に get は自分から取りに行きます。

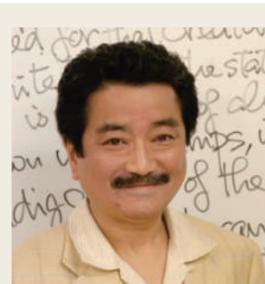
I'm going to **get** a good grade.
 (いい成績を取るぞ。)
 I'll **get** you.
 (お前、つかまえるぞ/やっつけるぞ。)

なんかがそう。

Get の後に来るのは名詞ばかりではありません。状態 (形容詞や動詞の受身形) も来て、その状態を自分のものにする/自分のものになってしまうことも多いです。たとえば When I **get** old, ... (年をとったら...) とか I've **got** shot! (撃たれた!) なんかがそうで、こういう get は be にきわめて近いものです。

東進英語科講師・宮崎 尊先生

『英単語の集中講義』などの参考書の執筆のほか、雑誌『TIME』や数々のベストセラー作品の翻訳も手掛け、英語界でその名を馳せる有名実力講師。英語を日本語に置き換えるのではなく、英語そのものをとらえる独自の読解法で受験生を難関大合格へと導く。英語を知り尽くした男が最高レベルの授業を約束する。



少しわかりにくいのが get の後に目的語と補語が来るケース。いわゆる SVOC というパターンです。たとえば次の文の違いは? どちらもエンジンがかからないことには変わりはないのですが、ニュアンスが結構違います。それを説明できますか? (これは上級者向け)

- (a) I can't **start** the engine.
 (b) I can't **get** the engine **started**.

(a) では「私ができない」のは「エンジンを起動すること」ですが、(b) では「私ができない」のは「エンジンが起動させられた (状態) を手に入れる」ことです。エンジンをかけるにはバッテリーから電気を送ってイグニッションをスパークさせて、と色々な手続きが必要で、これを全部自分でやるわけではありません。ふつうキーを差し込んで回すだけです。だからごく一般的に「エンジンがかからないんだよ」という場合には (b) で言うのです。こういう用法は多くあります。もう1例。

You are a person that **gets** things **done**.

「あなたは物事がなされた (状態) を手に入れる人です」つまり「あなたはやり手ですね」の意味。You can **do** things. と違って、自分で色々やるのではなく、人に命令したりさまざまな手段で結果を出す感じがよく表れています。

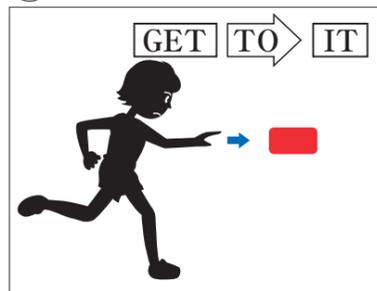
大切なことをもうひとつ。

Get は ① **get it** のように後ろに目的語が続く場合と、② **get to it** のように、前置詞で後ろの目的語を続ける場合があります。辞書ではそれぞれ ① v.i.(自動詞)、② v.t.(他動詞)として分類して説明しています。

①



②



図で見るとわかると思いますが、①は get する相手を「自分のものにしていく」のに対し、②では自分のものにして自分からそちらへ向けて「動いて」います。つまり②のほうは意味上 go にきわめて近くなります。そして②の用法はきわめて多いのです。

裏面のチャレンジ問題に続く! ⇨

チャレンジ問題

それぞれの get …… の部分がどういう意味か考えなさい。

1. We **got to the station** just in time for our train.
(電車の時間ぎりぎりに…)
2. You'll **get into trouble** if you go too far.
(あんまりやりすぎると…)
3. I paid the fare and **got out of the taxi**.
(料金を払って…)
4. I want to **get away from the job** and relax for a few days.
(何日か…のんびりしたい)
5. I've **got over** my cold.
(風邪…) ←over は「乗り越える」動き
6. We discussed how to **get across the river**.
(ぼくたちは…方法について話し合った)
7. It's hard to **get along** with him.
(彼と…ことは難しい) ←along with は「一緒に」
8. If the traffic is good, you'll **get there** in 30 minutes.
(渋滞していなければ30分で…)
9. We'll **get nowhere** if we just talk about plans.
(計画の話ばかりしていたんじゃ…)
10. Let's stop talking and **get down to work**.
(おしゃべりはやめて…)

正解

1. 駅に着いた。
2. まずいことになるよ。
3. タクシーを降りた。
4. 仕事から離れて
5. (風邪)が治った。
6. 川を渡る
7. うまくやっていく
8. 着きますよ。
9. らちがあかない。
10. 仕事に取りかかろう。

*get to work でなく get down to work と言っています。
この down は settle down (腰を据えて落ち着く) や down to earth (地に足がついた/堅実な) などの down と同じで、ふわふわ浮いていない感じを表します。

課題

次の文の下線部はどういう意味か、日本語で説明しなさい。

(題材: 東大)

These are the lies we teach our children to tell; we call them manners. Even our automatic response of "Fine" to a neighbor's mechanical "How are you?" is often, when you get down to it, a lie.

(子供たちに、言うようにと教えるウソもある。私たちはそれをマナーと呼ぶ。隣人に機械的に「いかがですか?」と聞かれたら私たちは自動的に「元気です」と答えるけれど、これも_____しばしばウソである。)

ヒント

get down to (it) は左の問題の 10. と同じ。it は何を指すのでしょうか?

もう少し詳しいヒントがほしい人は、下のQRコードから東進ドットコムにアクセスしてみてください。



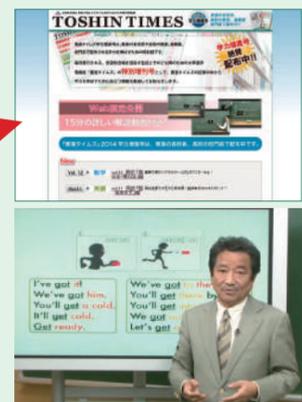
今すぐアクセス 解説授業を
東進ドットコムで限定公開中!

Web限定・宮崎先生の特別解説授業はこちら!

www.toshin.com

学力増進号

検索



ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、

TOSHIN
TIMES

発行
東進本部
発行人
永瀬昭幸

本部
〒180-0003 東京都武蔵野市
吉祥寺南町1-29-2

編集
株式会社ナガセ広報部
TEL:0422-44-9001

禁・無断転載

東進ハイスクール

0120-104-555

東進衛星予備校

0120-104-531



東進

検索



東進公式
Twitter



東進公式
Facebook

172大学の過去問も閲覧可!!

東進ドットコムはスマートフォン・ケータイからもアクセスできます!